

「安倍川水環境検討委員会」の設立について

設立の趣意

安倍川は古くから清流として親しまれ、生物環境も非常に良好な状態であり、多くの市民が鮎釣り等河川に親しみを持ち続けてきた。また、豊富な伏流水は、静岡市内の生活用水として利用されると共に、市内には多くの自噴帯が存在し、市民生活は安倍川から多大な恩恵を受けてきた。更に、平成16年7月に静岡市環境関連条例策定懇話会は、安倍川・藁科川・興津川を捉えた「(仮称)静岡市清流条例」制定の提言を行っており、清流環境の保全が益々重要となってきている。

しかしながら、近年安倍川の水質はBOD75%値で判断すれば良好な状態が持続されているが、とりわけ初夏から秋期において出水後の濁水が長期化する傾向があり、多くの市民が関心を持ち、さらには生物環境への影響が懸念されている。

このような環境の変化に対し、開かれた場所で学識・有識者等から現状の課題等について広く意見を聞くために当検討委員会を設置するものである。